サレジアン・シスターズの取り組み

女子修道会の国際総長会議（USIG）は2月8日を「世界人身取引に反対する祈りと啓発の日」と定め、人身取引で苦しむ被害者のため、また現代の様々な人身取引の現状に対し反対するために熱心に祈りを捧げました。そして啓発、何らかの行動をしていくように呼びかけられました。教皇フランシスコも祈りと行動を呼びかけておられました。

私たちサレジアン・シスターズは、日本にある13修道院でそれぞれに祈りを捧げました。  
多くの修道院は、数日前から“現代世界で行われている人身取引の実態”が描かれた映像を見ました。  
　多くのシスターたちがその実態を知り、衝撃を受け、真剣に祈りを捧げました。ある修道院では、教会の神父様と信者さんと共に祈りを捧げ、今後も意識をもってみんなで取り組んでいくそうです。学校教育に携わる修道院では、今後子どもたちや保護者など多くの人にも伝え、共に考えていくとのこと、また他の修道院からも日常の中で新聞や様々なメディアを見るときにもより関心を持ち、問題意識をもって見ていく努力をしていくことなども声が上がりました。

今後も私たちが世界に起きているこの問題に関心を持つとともに、身近なところで起きている人権侵害、人身取引の問題により関心を持ち、祈り、何らかのアクションをとっていくことが出来るようにしていきたいと思っています。

以下の写真は、いくつかの修道院の取り組みと祈りの様子です。

****

****